

ご当地ナンバープレートに関するアンケート調査結果について

ご当地ナンバープレートについて、市民から幅広く意見を募集するアンケート調査を実施しましたので、その結果についてお知らせします。

1 調査概要

項目	内容
調査目的	ご当地ナンバープレート導入基準の規制緩和によって新規導入や対象地域の拡大が可能となったため、平川市でのご当地ナンバープレート導入の検討に際し、市民から幅広く意見を募集するために実施するもの。
調査方法	広報ひらかわ6月号、市ホームページ及び市公式SNSにより周知を行い、平川市電子申請サービスの回答専用フォームにより回答。
調査対象	平川市民
調査項目	問1 あなたは『ご当地ナンバー制度』を知っていますか。 問2 あなたは自動車を所有していますか。 問3 あなたの車に『ご当地ナンバー』をつけるとしたら、どのように考えますか。 問4 図柄入りナンバープレートが選択できるようになったら希望しますか。 問5 あなたの年齢を教えてください。 問6 ご当地ナンバー導入についてのご意見をお聞かせください。（自由記載）

2 調査結果の概要

▷ サンプル数は、150件となった。

2.1 ご当地ナンバー制度の認知度

- ▷ ご当地ナンバー制度を知っていると答えた人の割合は8割を超える。
- ▷ これまでに全国で導入されてきたご当地ナンバー（第1弾：平成18年10月（19地域）、第2弾：平成26年11月（10地域）、第3弾：令和2年5月（17地域））により、市民の認知度はかなり高い。

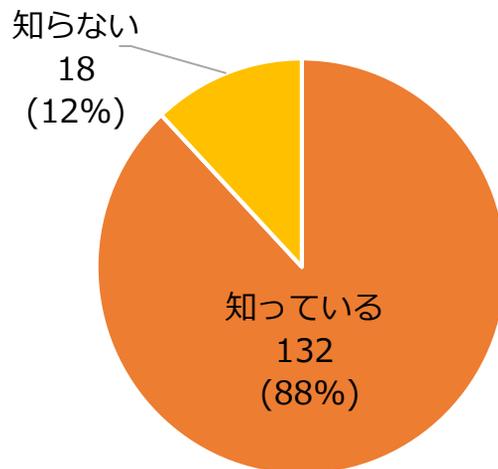


図-1. ご当地ナンバー制度の認知度

2.2 自動車の所有状況

- ▷ 自動車を所有していると答えた人の割合は9割を超える。

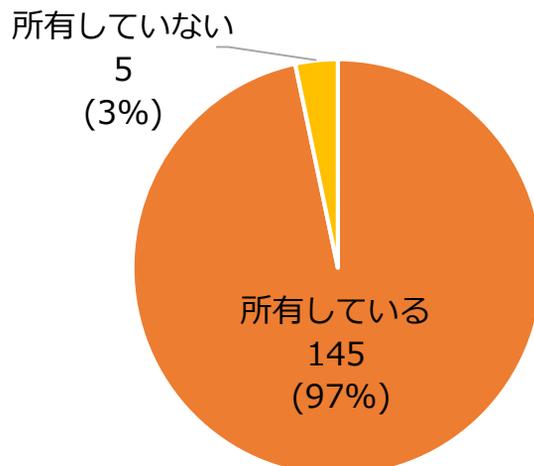


図-2. 自動車の所有状況

2.3 ご当地ナンバーに関する意向

- ▷ 「青森ナンバーがよい」と答えた人の割合が32%と最も多く、次いで「弘前ナンバー」が26%、「特にこだわらない」が25%を占める。
- ▷ 「その他」の中では、「平川（市）」と答えた人が19名、「津軽（つがる）」と答えた人が5名。
- ▷ 年代別では、ほぼ全ての年代で「青森ナンバーがよい」と答えた人が上回っているが、20代・30代では「特にこだわらない」と答えた人が最も多くなっている。

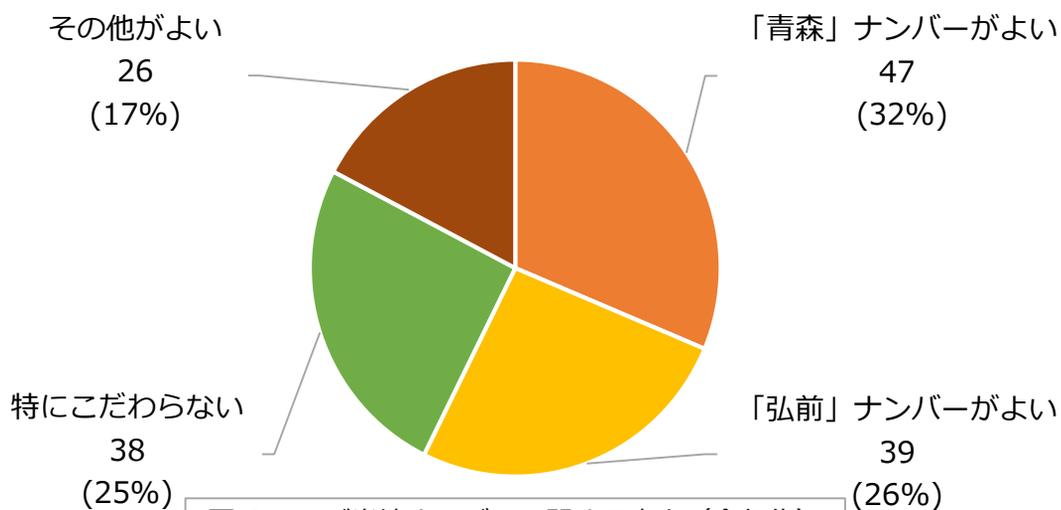


図-3-1. ご当地ナンバーに関する意向（全年代）

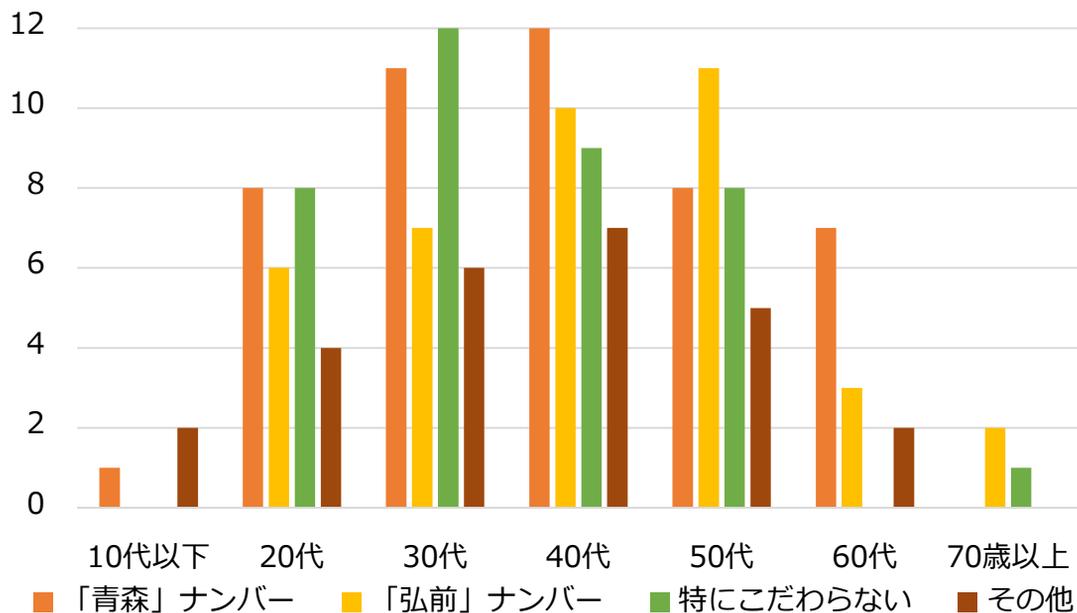


図-3-2. ご当地ナンバーに関する意向（年代別）

2.4 図柄入りナンバープレートの希望

- ▷ 図柄入りナンバープレートを「希望する」もしくは「図柄によっては希望する」と答えた人の割合は、合わせて7割程度を占める。
- ▷ 一方、3割程度の方は図柄入りナンバープレートを希望していない。

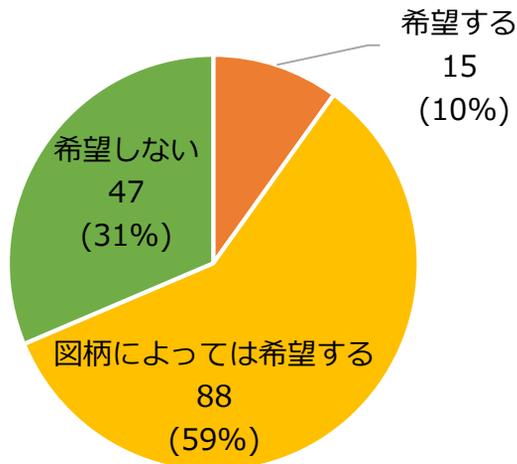


図-4. 図柄入りナンバープレートに関する希望

2.5 回答者の年齢

- ▷ 30代・40代の回答が多く、関心の高い年代といえる。
- ▷ また、20代～50代で回答全体の9割程度を占めている。

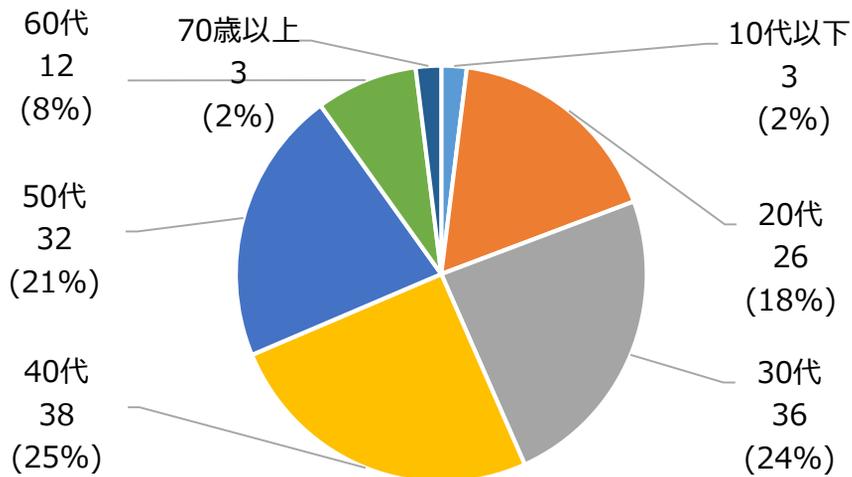


図-5. 回答者の年齢